

令和5年度 第3回二宮町駅前複合施設基本構想検討委員会 議事録

【日時】令和5年11月30日(木) 13時30分～15時30分

【場所】町民センター3階 3Bクラブ室

【出席者】

(委員) 8名

山崎俊裕委員(会長)、渋谷佳代子委員(副会長)、安藤裕之委員、藤原直彦委員
片岡宇一郎委員、田邊邦良委員、川上敏久委員、丹羽憲昭委員

(町) 町長、志賀政策部長

(事務局) 大谷施設再編課長、梅原施設再編推進班長、上原主任主事

(教育委員会事務局) 田嶋教育総務課長

(オブザーバー) 総務建設経済常任委員会 小笠原委員長、渡辺副委員長

【欠席者】和田俊宏委員、神野伸委員、井上早弥香委員

【傍聴者】 8名

【会議次第】

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議 事
 - (1) 「駅前複合施設基本構想(案)」について
 - (2) その他
4. 閉 会

資料 駅前複合施設基本構想(案)

1. 開 会

2. 会長あいさつ

・検討委員会も今回が最後となる。この駅前複合施設の基本構想というのは、非常に大事な、町の顔を作るものだと思っている。委員の皆さまには、言い残したことがないよう、積極的な発言や提案などをいただきたい。

3. 議 事（○委員意見 ●事務局（町）意見 ■オブザーバー意見）

（1）「二宮町駅前複合施設基本構想（案）」について

●事務局より資料を説明

・表紙右上の注記にあるとおり、前回（第2回）の変更箇所を下線で表記しており、今回（第3回）の変更箇所は赤字で修正している。

・38ページ②その他機能の表中「更衣室・シャワー室・ロッカールーム」の整備の方向に記載されている「多目的体育施設」は、37ページに合わせて「多目的室」に修正する。また、40ページ赤字は今回の変更箇所ではなく、赤字で記載する予定箇所である。

○32ページの柔道場と剣道場の稼働率をみると、特に学校の体育館と共用化することを考えた場合、日中では、柔道場が3.8%、剣道場は7割近い利用があるということだが、日中にこれだけの利用があると、一般の利用よりも学校の授業を優先した場合に利用が難しくなるのではないか。やはり一般利用は多目的室を使用することとして、学校の体育館はまた別に確保しておいた方が良いのではないか。実際の柔道と剣道以外の利用の内訳はどのようなになっているか。

●柔道場は柔道と空手が使っている。剣道場は剣道以外に卓球の利用が多く、体操と空手でも使っている。

●昔あった駅前町民会館でも卓球の利用があり、そこから活動場所を求めて、おそらく武道館にたどり着いたものと聞いている。

○卓球台などは折りたためるものを用意するのか。

●現在でも、大体各施設には折りたためる卓球台を備えている。

○そのための収納場所も必要になるのでは。体操の道具など、社会体育で使用する道具については、学校の道具とは別に収納場所などを確保した方が良いのではないか。

●武道館には町で用意した道具は置いていないため、実際には団体が持ち込んで置きっ放しになっているのが現状である。

○道具を収納する場所も考える必要があると思う。多目的で使えるのは良いと思うが、様々なシミュレーションしながら物の出し入れも検証しておかないと、多目的での使用が逆にぶつかり合って、それぞれが利用しにくくなってしまうということも考えられる。

○学校開放との兼ね合いで必要になると思われるため、稼働率については土日と平日に分けた方が良いのではないか。

- 稼働率は、土日と平日を分けて記載する。
- 学校開放もそうだが、予約システムについて、進んだ自治体はオンライン化して、利用状況の確認やネット予約をできるようにしている。二宮町の場合は、将来も含めて、どのように運営されていくのか。
- 現在、武道館を除いた施設では、公共施設予約システムからインターネット上で予約できるようになっている。ただし、武道館については、毎月使用する団体間で調整して、使用箇所を決定している。そういった意味では、開かれている施設とは言えない面がある。複合施設にする際には、予約システムで公平に利用できるようにする予定である。
- 特に学校の場合は、平日の日中は学校の授業が優先されるため、そこに一般の利用を入れてしまうと学校の時間割編成に影響が出てしまう恐れがある。土日は開放することもできると思うが、学校側の負担にならないようなシステムを考えていかないと上手くいかないのではないかと。学校開放の事例として、イギリスなどでは、何か問題があった場合、例えば火事などが起こった場合にも、学校長が責任を問われないというような徹底した形で行っている。システムの実施することが必要であり、学校開放が学校現場に負担をかけるということはあってはならないと強く思っている。
- 今のご意見には賛成である。やはり学校に隣接して施設を整備するので、今までの観念に捕らわれない新たな発想で上手く使った方が良いと思う。ただそれには、責任問題が関わってくるため、その点をきちんと整理した上で、画期的な試みをするのが大事だと思う。それから、知り合いに柔道をやっている人がいるので聞いてみたところ、二宮西中学校にも畳の部屋があるらしい。財産が無い町なので、今ある施設も有効利用していくことを強く望んでいる。
- 二宮西中学校の話が出たので補足させていただくと、二宮西中学校には、おっしゃる通り小規模だが武道場がある。柔道場と剣道場があり、学校開放の稼働率としては、半分程度の利用で空きがあるということは確認している。時代が進む中で、稼働率が下がっていくようであれば、当然西中の武道場の利用を促して、複合施設の機能も修正していく可能性があるが、まだ具体的に表現はできなかったため、32ページでは「二宮西中学校の武道場を活用する方法についても検討する」といった表現に留めている。
- 利用団体の中で、空手でもフローリングを使う団体と柔道場を使う団体がいるが、これは好みや流派の問題か。
- 詳細は不明だが、どちらも使っているようである。
- 44ページの資料に追加された可動式柔道場について、学校などではフローリングに置き畳で柔道場を設置するというケースもあると思うが、このシステムは必要なのか。
- 最も高級な仕様だが、あくまで可能性としての一例で載せている。実際には、競技場をどこまでオフィシャルなものにするかなど、レベルに応じた仕様を決めることになると思うので、あくまでも最大限やるとしたらここまでという例の一つである。
- 柔道場と剣道場の大きさは書いてあるが、多目的室の大きさが書かれていない。柔道場は

15m×15m程度が最低でも必要であり、そうすると 220 m²程度になる。そこに倉庫を付けると、300 m²程度の大きさが必要になってくると思う。多目的室の大きさはどのくらいになるのか。基本構想の場合は、目安としてある程度総面積を出しておく必要があるのではないか。

- 37 ページの一覧でお示ししている内容で、多目的室を 212 m²+121 m²とした場合、総面積は大体 1900 m²程度になる。ただ、これは部屋だけの面積で共有部分は含まれていない。共有部分を全体の 3~4 割と見込むと、全体としては 2,300~2,400 m²程度のサイズ感になってくると考えている。39 ページの施設ボリュームイメージでも 2,300 m²程度で検討を行っている。実際は、収納や機械室なども必要であり、それを含めると 2,500 m²程度となる可能性がある。
- 部屋だけで約 2,000 m²ということは、純粹に共有部分を 3 割としたとしても、2,000 m²÷0.7 で総面積が 2,857 m²になる。延べ面積に対する 3 割が共有面積になるということである。そのため、今の試算の仕方は少し違うのではないか。例えば、施設全体で 2,800 m²なら、その 3 割の 840 m²が共有部分の面積として必要になるということである。総面積が 2,300~2,400 m²というのでは、コワーキングスペースなどの共有部分がほとんど取れないことになる。延床面積の認識をきちんと押さえておかないと、費用がかなり厳しくなると思われる。
- 全体の面積や各機能をまだ詰め切れていないという状況もある。いただいた話をふまえて、総面積〇〇m²程度という表現になるかと思うが、できる限りその辺りも表現したい。
- 通常の庁舎だと、市民スペースなどのオープンスペースで大体 4 割ぐらい取っている。そういった共有部分をいじめるとなると、理想としてイメージしている空間にならないため、かなり厳しいのではないか。総面積を抑えるなら、各室の大きさをもっといじめる必要が出てくるということを再認識しなければならない。
- 今のご意見のように、やはりもっと面積が減るものと思って考えていかなければならない。〇〇m²程度残すなど、既得権益を確保したかのように書いてあると、結局は詰め込んでも、全部はできないから減らすということになってしまうのではないか。あと、カフェとコワーキングスペースとして 75 m²では狭いと思う。面積を減らすとしたら、共有部分からではなく会議室側から減らしていくべきではないか。今のような書き方では、会議室はこれまでの利用者があるのだから、カフェやステージから減らそうということになることが懸念されるため、どこから減らすつもりなのか、どこは面積を確保するつもりなのかをきちんと明示しておくべきだと思う。それがないままパブコメにかけても、反対も賛成もできないということになりかねない。「今はこういう状況で考えていて、精査はできていないけれど、面積を減らす必要がある場合はこの優先順位で減らしていきますがいかがですか」ということをきちんと問い掛けるべき。カフェとコワーキングの面積をもう少し大きめにすることがどうかということと、面積を減らす場合には、まずは体育館のステージを減らして、次は昼間使っていない柔道場で、畳を常時敷いておく部屋は作らない

など、段階のようなものをきちんと明示して、それに対して良いか悪いかの意見を聞いて欲しいと思う。

- 資料④は付けない方が良いのではないか。これがあると、町民の大切な税金を可動式の畳にするというふうに読めてしまう。柔道をする方にとっては、パブコメでこの内容に対してOKと言ったのに、可動式ではなく置き畳になったら話が違うということになりかねない。可動式を設置する見込みとそのため財源が本当にあるのであれば書いた方が良いと思うが、反対意見をいなすための理由であれば無い方が良いと思う。
- 部屋の名称を会議室としていることも非常に気になっている。本当に会議室がこれ程必要なのか。37ページの会議室を多目的室1~5とし、下の多目的室を多目的室6としても良いのではないか。会議をするというよりも、むしろアクティブな活動や多目的にいろいろと使われている方が、本来のこの施設の趣旨に合ってくると思う。他に言い方が無いのなら会議室でも仕方がないが、これまでの既得権ということではなく、新しい、特に若い人達のニーズも踏まえて、様々な形で新たにアクティブな活動ができる場所であるということを明示していった方が良いと強く思っている。
- カフェやコワーキングスペースと書いてあるが、具体的にカフェはどのようなものをイメージしているのか。事業者は利益が出ないと撤退してしまい、その後誰も入って来ずに寂しい場所になってしまうという事例をいくつも見ている。
- 時期は未定だが、事業者へサウンディングすることを考えている。今はあくまでも他の事例などからカフェとコワーキングスペースに最低限必要と思われる面積を計上している。また、具体的な話はできていないが、観光協会にもカフェ経営に参入してほしいと思っている。
- 駅前の一等地であり、おしゃれなカフェがあるととても良い場所になると思う。駅前で滞在できるという、カフェの機能としてはかなり良い場所にあるので、手を挙げてくれる事業者もいるのではないかという気がする。
- 東京都荒川区にある「ゆいの森あらかわ」にもカフェがあり、ものすごい人気で相当儲かっていると思われる。立地が良いということもあると思うが、図書館目的ではなくカフェ目的で来る人も多くいるようである。
- 大手チェーンを呼んでくるということではなくて、地元の若者を呼び込むような活動をして、そこからお店を始めてもらうのが良いのではないか。資本系に入ってもらうのではなく、地元ならではのものにしていくというのが、この場所でカフェやコワーキングスペースが受け入れられることにつながっていくのではないかと思う。あるいは、こういうことをやりたい人はたくさんいるので、東京から若者を呼んできても良いと思う。
- 今の意見には賛成である。カフェを使いたい人は多くいると思うが、駅前に喫茶店らしきものがあまりない。できれば喫茶スペースより、コーヒーショップのようなものができてほしい。また、柔道場は可動式柔道場にはしない方が良いと思う。今ある団体の便宜を図るような内容になっているが、誰でも使えるように何も置かない方が良いのではないか。

柔道をする人が何人か集まれば、畳を出し入れすることもできるはずである。二宮西中学校の武道場も結構面積が広く、駐車場もあるため、使おうと思えば便利に使えるのではないか。

- 温水プールが廃止されたので、町民の健康維持増進にあまり関心がないといった、誤ったメッセージで受け取られないようにしなければならない。プールより汎用性のある屋内の活動場所として、幅広い世代に対応可能な施設で、しかも今よりも利便性の良い駅前で活動できるということになれば、老若男女というカテゴリーや、活動のカテゴリーを超えて、交流結節点となり得るので、上手くコンセプトやメッセージを打ち出していくことが大事ではないか。また、完成後の運営体制についても、セクショナリズムを超えて上手く運用されるような体制を是非とも望んでいる。そうであれば、駅前の一等地を使う事にも大義名分が立つと思う。
- 貴重なご意見だと思う。柔道と剣道が前面に出ているが、それ以外の様々なスポーツをここで展開できるという期待感がある。これまでは高齢者福祉に力を入れてきたが、これからは次世代を担う若い人達の居場所づくりだとか、そういうことに力を入れて真剣にやっていくことが必要だと思っている。全国の事例を見ても、特に田舎の方の移住によって合計特殊出生率が上がっていることで注目されているところは、本当に若い人達のいろいろな活動やそのための場づくりを一生懸命に支援している場所であり、そのことで魅力のある場所となっている。今回は駅前の一等地なので、老若男女の様々な人達がここに集って新しい出会いが生まれるようになると、すごく良い場所になるのではというふうに期待している。
- 駅前の一等地なので、地元の人達の憩いの場、かつ子ども達が職業体験などをできるような場になると良いのではないかと思う。ともしびショップ「なのはな」では障がいのある方が働かされているが、そういう職業体験ができたり、大手チェーンでも耳の聞こえない方だけが店員をされている店舗などもあるようなので、そういうものも良いのではないかと思う。商用のカフェに任せてしまうのも楽ではあり、地元でやろうとすると様々なイベントを企画したり運営が大変だという気はする。そこはもう町ぐるみ、地元の人ぐるみで活性化していくという意識をずっと高く持たなければいけないが、それはそれですごく良いと思う。なので、商用のカフェと地元のカフェも両方案としてあるけれどどう思うかということのパブコメで確認しても良いのでは。若い人とか移住者にうけるものは何だろうという視点でこのスペース、特にカフェとコワーキングスペースを考えることはとても良いことだと思う。
- やはり全体の面積がどれぐらいになるのかが気になる。それぞれの特に部屋の大きさをもう少し小さくしないといけないのではないか。本当は、モデルプランみたいなものがある程度作って、これぐらいのバランスで実現できそうだとするところまで基本構想でできるのが理想である。数値だけ先行してしまうと、実際にやってみたらこれぐらいしか取れなかったという話になって、イメージと大分落差を感じることにになりかねない。

- これまでの議論で面積の話が一番大きいと思っており、37ページについてはパブコメまでに修正する必要があると考えている。37ページの表では、町民センターと多目的室を2つに分けて示しているが、本日の議論からここは多目的室として1つにしてしまっただけで良いと思っている。また、全体の面積についても、今の時点で少し縮めた形で合計として示すことが必要だと感じている。
- 後から共有面積を削減して、当初のイメージどおりにいかないということが多いので、共有部分についてはある程度の面積を見ておく必要がある。3割というのは廊下や階段などの共有面積であり、オープンスペースは含まれていない。マルチのオープンスペースも含めた場合、4割ぐらいは必要になってくる。この中で4割というのはかなり厳しいので、30~35%ぐらいは共有面積として見込んでおくべきではないか。本来であれば、4割を見込んでおいた方が良いと思っている。
- 先程意見にも出ていたが、どちらの方向性に振るのかを問うべきだと思う。最大で2,800㎡と決めたら、そのうちの共有スペースを30%にするのか40%にするのか、つまりカフェやコワーキングスペースのようなゆとりのある空間を取るのか、会議室を確保するのかがというところが、最も大きな争点になると思う。
- 小学校のグラウンドが狭くなるため、総面積を2,800㎡にするのは難しいと思っている。前回示した面積をすでに超えているので、削減する優先順位を整理していくことを重点的に考えつつ、共有部分もおそらく減らさざるを得ないというのが現実だと考えている。あとは、費用の問題はあるが、一部3階建てにすることも考えられる。今の段階でなかなか詳細までは示しづらいが、総面積を示すとすれば、やはり2,300~2,500㎡程度が上限と考えている。はみ出る部分については、体育館のステージや柔道場を無くすことが前提になると思っている。共有部分をとるのか、圧迫感の軽減をとるのかの選択が出てくると思っており、共有部分を多くとることと、敷地内にゆとりを持つことは両立できないと考えている。
- 実際に設計をする場合、作業として大きめの面積を小さくコンパクトにしていくことが多いが、この段階で2,300㎡とする根拠がないのではないかと。総面積を示す際に機能を積み上げていって、例えばカフェやコワーキングスペースも十分取れそうだとということが検証されれば2,300㎡でも良いと思うが、実際に設計する立場で言うと、今のままでかなり厳しいと思う。まず良いプランが出来ないだろうという気がしている。基本計画や基本設計の段階で、最終的に小さくする必要があるかもしれないが、今の段階では、総面積を2,500㎡程度にしておいた方が良いのではないかと。
- 多目的室をどんどん減らしていけば良いと思う。その際には、既得権益を持っている方が反対しないように、その制約要因などを書き込んだ方が良いのではないかと。グラウンドはこれ以上削られないので、総面積としては2,300㎡程度が限度であり、そのため、このような使い方をするしかない、などと書いても良いのではないかと。
- 優先順位を示していくというのは、確かに合理的だと思う。

- 費用の上限としては、2,300㎡に単価をかけるという認識で良いか。
- 費用については、あくまでもイメージとしてしか示せない。基本構想の定義づけにはいろいろ幅があると思っており、他事例の基本構想を見ると、理念しか書いていないものがある一方、かなり詳しく書き込んでいる例もある。今回の基本構想を作成するにあたっては、コンサルなどを入れずに従前の計画をバージョンアップするということで記載しているため、なかなか細かい数字まで言及できていないという背景がある。当初から、次の基本計画に移っていく段階でコンサルなどを入れてブラッシュアップしていくというイメージがあったので、事務局としては基本構想でそこまで具体的に書き上げていくという考えは元々なかった。そのため、今の段階では、どちらかというとな理念や優先順位といった考え方の部分を重視した記載とさせていただきたい。
- 基本構想といっても様々にバリエーションがあり、かなり内容を詰めた基本構想もあれば、そうではない基本構想もある。ただ、基本構想の段階で基本計画の内容までオーバーラップして踏み込んでいるものの方が、基本計画から後に上手くバトンが渡っていく事例が多いように思われる。基本計画や基本設計の段階になって、面積や機能を大きく減らすことになるというケースがたびたび見られる。そうはならないためにも、コストは大体これぐらいかかるとか、面積はこれぐらいのボリュームになるというイメージは、基本構想の段階である程度詰めておいた方が良くと今までの経験から感じている。
- 委員会は今回で終結させなければならない。先程の意見のとおり、理念や優先順位についてはきちんとした条件を書くということになるかと思うが、そのあたりに止めておいて、来年度以降に基本計画を作成する中でもう少ししっかりと作っていく形で良いのではないか。ただ、やはり小学校の敷地の制約もあって、2,300㎡程度が上限になるということも条件にしなければいけないだろうということぐらいは書いておいた方が良くと思う。
- 2,300㎡に単価をかければ、大体どれぐらい工事費がかかるか、単純に掛け算で出すことができる。
- 本日の議論を聞いていて、やはり武道館と町民センターについて、学校施設や学校開放を活用するという事は、皆さんイメージとして持たれているようだと感じている。今回の基本構想の中では、学校開放について全く触れていない。実際には学校施設も、いわゆる公平なルールで町民に貸し出しているわけでは決していないという現状があるため、その辺りについても、基本計画ではきちんと押さえて整理をする必要があると思っている。
- 既存不適格の問題があり、風致地区をまず解除するということと、敷地のどこに新たな敷地境界を設定して別敷地にするかということがある。今回の施設整備では、国庫補助は活用できるのか。
- 複合施設においては、小学校の体育館ではなく、体育館を小学校が借りるという形になる。施設の複合化に充てることのできる起債はあるが、体育館の建替えに活用できる国庫補助はほとんどない。そのため、現時点では複合化による起債を活用したいと考えている。
- 総面積の目安は2,300㎡程度という話だったが、最終的に基本構想には明示されるのか。

- 総面積の目安は明示する考えだが、2,300 m²程度という記載になると思われる。また、優先順位を決めて、面積を落とせるところから落としていくということも記載する予定である。
- ただ既存の施設をどう複合するかということではない発想でやりましょうという議論で進行していて、今の段階で整理はされているが、個人的にはまだ弱いと感じている。一番のポイントは、今回一緒になる体育館をどう活用して、施設を効率良く運営するか、町民の方に喜んでもらえるかということだと思っている。また、まだ議論にはなっていないが、こういったスペースというのは内装を含めた運用が非常に重要だと考えている。今ある施設を移すことも行政としてはすごく重要なことだと思うが、これから新庁舎ができ、にのみやホテル跡地もいろいろ検討されているため、総合的に多少先のことを考えて、将来的なハード面のあるべき姿をもう少し明示してもらいたい。そして、ソフトの運営面をどうするかということで、学校施設の民間活用のようなことも大きなテーマになりそうであるし、1階に関しては、今の時流にあった町のための活性化の1つの考え方として、観光協会や喫茶スペースなど、皆さんがそのスペースのソフト面にも関わっていただけるといいのではないかと感じている。
- 前回商工会館の話が出ていたと思う。いろいろな人達が集うということは、そういった方々も含めてアクティビティーが高まっていくことだと思っている。今まではゾーニング手法で建築が作られてきたと思うが、これからは違った手法が必要ではないかと感じている。商工会の方でも居場所として何か場所を形成していくということもイメージとしてあるかと思うが、その辺りはどのようにイメージしているか。
- 駅前が一番良い場所にそういうものができれば良いということは概念的に理解できるが、それをどう実現するかはプロの世界になると思う。そういったことを基本構想の中に入れておくことは重要なことだと思っている。そのためには、コンセプトとして、1階をどう活用するかということや、体育館をどう活用するか、余ったスペースに対して今の町に足りない機能をどう入れていくかといったことは考えておくべきだと思っている。そのためには、積基本構想の段階で考えられる方向性を積極的に示し、それについて町民の意見を聞いていくことが重要ではないかと感じている。
- 検討委員会も3回目なので、多目的スペースやオープンスペースの運用などについては、基本計画など次のステージに行くときの1つの大きな宿題というか検討課題になるのではないかと感じている。
- これまで提示された資料に関しては、議論の中で修正されたことによって内容の精度は上がってきていると思う。ただ、基本構想に対して皆さんが賛成するかということについては、なかなかイメージがわからないとも思っている。
- 駅前という玄関口にふさわしい施設は何かということを考え、それは既存の施設を寄せ集めただけではなく、駅前にあるということの価値について皆さんでディスカッションしてきた。そして、今施設を使用している方のためにもなるけれど、新しく来る方や若い

人達が、どうやったらここに来てもらえるかということを経験した結果、今のようなゾーンになった。どちらかというと、既存の会議室を少し減らしてでも、皆が集えたり、若い人の活性化につながるようなものを尊重していきたいということを皆さんで話し合ってきたという経緯がある。その結果、こういうゾーンになっていて、優先順位はこうなるという流れで書ければ、今のご意見のようなこともきちんと盛り込めるのではないかと思う。それに対してどう思うかということを見聞としていただければ良いのかなというふうにした。

- 新しいことが創発されるということが、これからの二宮のまちづくりとか、地域づくりにとっては非常に大事になってくると思っている。そのコンセプトをしっかりと据えた上で、ハード面だけでなく、ソフトの運用についても、今後プログラムとして考えていかなければならないと感じている。ただ、器としての施設ができた後に、こんなところで何ができるんだろうということにならないよう、建築の耐用年数を考えると70~80年、場合によっては100年の計で考えないといけない。そのため、柔軟かつフレキシブルに運用できるようにしておくことが、一番のポイントではないか。
- 駅前複合施設を整備するということを見聞したときに、会議室にこだわる必要はないと思った。二宮町は地域集会施設が充実している。また、3丁目にある県営住宅のところは健康住宅という位置付けて、ホールを元気なコミュニティ協議会で管理することが決まっている。そのホールは児童館と同じぐらいの大きさがあり、そこでは卓球もできることになっている。やはり卓球のニーズは多く、団塊の世代が元気に活動している。会議をする場所は町の中にすでに多くあるので、使いたければ探せば見つけることができる。そのため、駅前については、交流する場をしっかりと作ることが重要だと考えている。もう1点は、お金がないとはいえ、デザインは多少考えてもらいたいと思っている。町には20地区にそれぞれ地域集会施設があり、その中には防災コミセンもある。会議室は全体を見たら、むしろ余っていると思うので、駅前は若者たちを中心とした施設にしてほしい。やはり自由な空間というのが重要で、少しゆとりや遊びの部分を持つことが重要だと思っている。話を聞いているとトイレも狭くなりそうなので、そういう部分もゆとりを持って整備してもらいたい。
- 会議室や部屋というよりむしろ、空間が多目的でフレキシブルになっていて、様々な形に転用できるスペースがあっても良いのではないかという気がしている。新しいことをやるためには、固い感じではなく、何かコーナーなりスペースがあって、それが出会いを生んだり、お互いに刺激となったり、何か相乗効果が生まれたりすることが次世代のコミュニティ施設のあり方になってくるのではないかと感じている。そのため、シームレスに、皆が何となく日常の中で風景として見えているということはとても大事だと思う。そこから、新しい活動が生まれてくるような気がした。
- 少し残念だったのは、新庁舎や(仮称)福祉会館などの整備が予定されているラディアン周辺と、駅前複合施設を一体的に話し合うということがもう少し欲しかったということ

である。その辺りについては、これからもう少し深めていただければと思っている。

- 新庁舎の事業はすでに進んでいるという認識で良いか。
- 現在取り組んでおり、新庁舎の整備と（仮称）福社会館の整備、ラディアンの改修のための設計を1つの事業で行っている。3つ同時に進めているが、現在は（仮称）福社会館とラディアンの設計を先行して取り組んでいる状況である。
- 施設間で有機的に連携されて、大きさも含めて、ネットワークとしての機能を考えられれば良いのではないか。

（2）その他

- 今回の委員会は本日が最後ということで、基本構想（案）については、議会へ説明をした後、1月4日（木）から2月5日（月）の期間で意見募集（パブコメ）を実施する予定。

以上